

令和元年 6 月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和元 6 月 26 日 (水) 開 会 午前 9 時 30 分
閉 会 午前 10 時 30 分
- 2 会 場 茅野市役所 705 会議室
- 3 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 小平 光子 教育委員 濱 勝之
教育委員 永嶋 陽子
- 出席者 こども部長 有賀 淳一 生涯学習部長 平出 信次
こども課長 五味 健志 生涯学習課長 藤森 隆
学校教育課長 五味 正 中央公民館長 矢島喜久雄
文化財課長 両角 勝元 スポーツ健康課長 中村 浩明
こども係長 宮下 孝 幼児教育係長 北沢 賢一
教育総務係長 立石 淳二 生涯学習係長 伊藤 研一
教育総務係主事 牛山 紘貴
- 4 傍聴者 3 名

6 月定例教育委員会次第

日 時 令和元年 6 月 26 日（水）午前 9 時 30 分から

場 所 市役所 705 会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）参議院議員通常選挙に関わる施設の臨時休館について

5 検討事項

（1）総合教育会議の開催について

6 その他

（1）市議会 6 月定例会一般質問について

（2）市議会 6 月定例会議決結果について

（3）茅野市奨学金審査会委員の選出について

（4）ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業について

次回定例教育委員会日程について

7 月 26 日（金）午後 2 時 00 分「704 会議室」

（事務局会議 7 月 11 日（木）午前 8 時 45 分「705 会議室」）

7 閉会

教育長

只今から 6 月定例教育委員会を開催します。

前回 5 月の会議録の確認をします。承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。

報告事項に入ります。報告第 1 号をご覧ください。

6 月 1 日に金沢小学校の運動会がありました。毎年見させていただくと子どもたち年々成長してきています。また、多留姫文学自然の里まつりがありました。子ども達の参加が増えてきています。

2 日に茅野市こども祭りがありました。ご参加ありがとうございました。

4 日に金沢小学校が読書文部科学大臣賞を受賞し、市長報告をしました。昨年は湖東小学校が受賞しています。ここ数年連続受賞です。今年においても市内の学校で推薦をしたいと思います。

7 日に議会が開会となりました。また同日に幼保小合同研修会が行われました。

9 日に茅野市総合体育大会開会式がありました。2 月までそれぞれの競技で大会が行われます。

11 日に社会教育委員の会がありました。活発な意見が出され、充実した会となりました。

12 日にロングモントの打合せがあり、今年はロングモントの子ども達が永明小学校、永明中学校、米沢小学校を訪問します。

13 日から議会の一般質問が開始となりました。

14 日に宮下先生が保護司会の会長となり、来訪してくださいました。また同日に I C T 教育家庭モラルアップ部会があり、今年も講演会を計画しています。

16 日にスポーツチャレンジ教室の開会式がありました。

18 日に健全育成大会の原村との打ち合わせがありました。

19 日に福祉教育委員会がありました。

20 日に教育支援委員会、図書館協議会がありました。

21 日に公民館運営審議会がありました。また同日に地域高等学校協議会がありました。こちらは教育委員会の所管ではありませんが、県内の地域高校の 19 校が蓼科に集まり、協議会を行いました。招待され参加してきました。地域高校をどのようにして特色あるものにしていくかが議題として挙がっていました。

22日に茅野市保育所保護者連合会の総会がありました。今年度からは総会の後の懇親会を無くし、研修会としました。内容はどんぐりプランについて代表の山田さんから説明がありました。

24日に不登校対策委員会と市PTAと校長会との懇談会がありました。

25日の昨日から森田先生が来訪しており、明日まで私たちに指導をしていただきます。

27日に金沢小学校の主幹訪問があります。

28日にサポートルームの会があり、サポートルームの担当者と校長先生で今年度から始めたサポートルームの様子を情報交換しました。また同日に縄文祭りの実行委員会がありました。

29日に永明小学校永明中学校建設の設計者プロポーザルがあります。

報告第1号については以上となります。

次に各課から報告事項第2号についてお願いします。

[各課から7月行事予定について報告]

資料（報告第2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課・スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告第3号）

教育長

報告事項について何かありますか。無いようですので次に移ります。

議案第1号「参議院議員通常選挙に関わる施設の臨時休館について」をお願いします。

生涯学習課長

参議院議員通常選挙に関わる施設の臨時休館についてご説明させていただきます。

中央公民館の関係になりますが、7月21日が投開票日となります。茅野市公民館管理規則8条により、7月20日は土曜日となりますが投票所となっており、選挙の準備の関係で臨時休館日としたいと思います。7月21日の日曜日は通常休館日となりますが、選挙のため使用を許可したいということで、お諮りしたいと思います。

教育長

只今、説明のあった通りとなりますが、承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。

次に検討事項 1「総合教育会議の開催について」をお願いします。

学校教育課長

総合教育会議の開催についてですが、日程の調整をさせていただき、8月7日水曜日の16時から開催を考えております。総合教育会議の中で事務局案として、今井市長の教育に関する考え方をお聞きし、意見交換をするということで考えております。特別に議題としたい内容等ありましたら、ご提案をお願いします。

全委員

なし。

教育長

また意見等ありましたらお願いします。

次にその他 1「市議会 6 月例例会一般質問について」をお願いします。

こども部長

その他 1 の資料をご覧ください。令和元年度 6 月定例市議会一般質問の内容となります。

6 名の議員さんより 7 項目の質問をいただきました。回答の要旨についてご説明させていただきます。

伊藤玲子議員より子どもたちを守り健やかに育むための取組について 2 つの質問をいただいております。1 つ目が園児の散歩コース等、児童の登下校の安全対策の現状についてです。回答の要旨については、滋賀県での事故を受け、翌日には、国・県・市との安全対策協議会を全国に先駆け行うこととしました。また、私立を含め各園で危険箇所マップを作成しました。

5 月 24 日には、茅野警察署、道路管理者と安全対策協議会を開き、ハード整備の検討をお願いします。

ソフト対策として、マニュアルを整備していき、今後も安全対策を徹底しながらお散歩を続けていきます。

学校では、教職員、PTA、見守り隊、コミュニティスクールの役員によるパトロールを実施しており、各学校のコミュニティスクールを中心として、「ふらっとながら見守り」活動等を行い、市民をあげて子どもを守る活動を盛り上げていきたいと考えています。

ハード面の安全対策を協議する場として、「茅野市内通学路交通安全推進協議会」を開催しています。また、昨年度はブロック塀の点検や通学路の危険箇所緊急点検を実施しましたと回答をしました。

2つ目が玉川小の事件からの教訓を、今後どう生かしていくかです。回答の要旨については今回の件が判明した当日午後6時20分には、当該クラスの保護者の皆さまに今回の件についてお伝えし、謝罪をしました。児童・保護者の心のケアについて、スクールカウンセラーからも説明させていただき、午後7時から全家庭の保護者の皆さまに状況を報告し謝罪及び今後の対応等の説明をしました。

翌朝には、全校集会で校長から児童に今回の件について伝え謝罪をしました。また、スクールカウンセラーと市の臨床心理士を学校に派遣し、当該クラス及び6学年児童全員の面談を行い、必要な場合は再度面談を実施しました。

なお東部中学校へもスクールカウンセラー1名を派遣しています。

代替えの担任については、5月27日に前の玉川小学校校長の野澤幹雄先生を配置しました。

今後においても今回のケースを活かして、いかなる場合も子ども達の事を最優先に考えて対応をしていきます。

研修を重ねる中、今回の不祥事が発生したということで、5月13日には臨時の校長会を開催し、非違行為研修の計画を見直すこと、働き甲斐のある職場の構築をすること、全職員と面談を行うこと等を確認しました。また、5月16日には、市内全小中学校教職員を集めコンプライアンス研修を実施しました。

今回の事件の原因についてはしっかりと原因を県教育委員会と共に突き止めることが肝心だと考えており、外部の方から学ぶ、外部と関わる研修の方向も大切と考えています。教員採用人事のあり方、教員に関する情報共有について、県教育委員会にお願いしていきたいと回答をしました。

続いて樋口敏之議員より永明小学校中学校建設基本構想について3つの質問をいただきました。

1つ目が基本構想案はどう活用していくかです。回答の要旨については、昨年5月に「永明小学校永明中学校等建設検討委員会」を立ち上げ、9月に提言書を提出していただきました。「永明小学校永明中学校建設基本構想」は「永明小校永明中学校建設基本構想・基本計画策定委員会」において構想案を作成し、3月に策定を行いました。

基本構想では、目指す学校のすがたと施設整備の方針を示しています。

7月末頃に設計者を決定し、8月から設計者とともに、「永明小学校永明中学校建設基本構想・基本計画策定委員会」において、基本計画を作成していきます。

基本構想を基に「永明小学校永明中学校建設基本計画」を策定する予定です。基本計画策定後は、実施設計を行い、来年度末までに設計を完了する予定と回答をしました。

2つ目がちの保育園の位置づけについてです。回答の要旨については、目指す学校のすがたにおいて、保、小、中が連携し、学びの連続性を持ちながら成長を促すこととしています。連携しやすい配置や動線を考慮に入れるとともに、様々な交流、連携、接続の方法を配慮し、基本計画を作成していきます。

複数の保育園から永明小学校へ入学して来る園児がいることにも配慮して連携に取り組みます。

建設に伴う周辺道路の位置づけについては、安全で使いやすい道路に心がけ、計画していきますと回答をしました。

3つ目が学園都市の考え方についてです。回答の要旨については、中心市街地の立地を生かした学校づくりを行うこととし、周辺公共施設との連携を考慮した校舎の配置や動線の設定を行う方針としています。

また、地域の方とも交流することができる空間や施設を整備し、コミュニティの核としたまちづくりを進めていくことができるような施設を目指していきますと回答をしました。

生涯学習部長

続いて、吉田基之議員より2つの質問をいただいています。

1つ目が障がい者スポーツから学ぶものについてです。回答の要旨については、障がい者スポーツを見たり、アスリートと触れ合うことは、共生社会の具現化に向かっていく第1歩です。

障がい者スポーツのアスリートからは、あきらめない、力強い姿を通して「生きる力」を学んで欲しいと思っています。

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、県内のホストタウン登録市町村は、これまでの両国の交流を大切にしながら登録しています。この4月時点での登録状況は、国・地域数126に対し、自治体数が390となっています。ホストタウンになるには、言語、文化、食生活への理解や練習施設が基準を満たしていることが求められています。こうしたことから、茅野市では現在、新規に登録することは考えていません。

ホストタウンに登録された際の国からの補助金については、交流に要する経費、競技体験イベントの開催に要する経費として、対象経費の2分の1の額が特別交付税措置されますと回答をしました。

こども部長

2つ目が子どもの教育的な効果についてとなります。茅野市の小中学校では、障害者施設への訪問や交流を行い、障害者への理解や関心を高め、多様性を認める学校づくりと教育を目指しています。

昨年度は茅野市社会福祉協議会主催の出前福祉教室で車椅子バスケットボール体験、ボッチャの体験、ゴールボールの体験を行っています。東京パラリンピックに出場する選

手を招いて話を聴いたり技術を見せていただくことは、出場する選手や日程が決まらない中で実施することは、難しいです。今後機会に恵まれれば、考えていきたいです。

東京オリンピック・パラリンピックについては、各教室の大型提示装置で観戦して、スポーツの価値、国際・異文化、共生社会を学べるような取組をしたいと考えています。

日頃の人権教育・福祉教育、インクルーシブ教育の上に立つてこそ、子どもたちの心に響くような障害者スポーツ、障害者への理解が深まると考えていますと回答をしました。

生涯学習部長

両角実晃議員より4つの質問をいただきました。

1つ目が推進計画の進行状況についてです。スポーツ推進計画では、計画の基本理念である「すべての市民が豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる」ことの実現を目指し、計画最終年の令和4年度までの目標達成に向けて、各種事業の取組を進めています。

基本目標として、5項目を掲げました。

基本目標ごとに現状と課題を踏まえ、スポーツの提供に努めています。幼児期からの子どもの体力向上方策は、総合体育館を使い小学生エンジョイスports教室を開催し、運動の楽しさを体験してもらっています。昨年度は利便性を考慮し、新たに湖東小学校の体育館を会場に、「小学生スポーツ教室」を1教室増やし実施しました。

目標の達成をめざし、できることから取組を進めていくと回答をしました。

2つ目が基本目標4にある「競技力の向上に向けた体制、指導者養成の推進」についてです。選手の育成強化については、学校での部活動、スポーツクラブ、茅野市スポーツ協会の活動が主になっています。競技力向上は、小学校・中学校・高校などジュニア期からの選手育成が重要であります。年代やレベルに応じた指導者が必要となり、一方で指導者はライセンス制の導入などにより、より高度化され、常に新たな知識や技術への理解が求められています。

ますますハードルが上がってきている状況になっており今後、茅野市スポーツ協会等と連携し、指導者の悩みを聞き、指導者が求めている情報や知識習得のための講座を企画していくと回答をしました。

3つ目が基本目標3にある「市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備」についてです。

平成30年度は、年間延べ約29万7千人の方が利用しました。また市内10地区で行われているコミュニティスポーツ教室には、年間延べ約3千人、中学生年齢を対象としたジュニアスポーツ教室にも延べ約1千8百人と、多くの方がスポーツに触れています。

こうした背景には、茅野市スポーツ協会やスポーツ推進委員、各地域のスポーツリーダーや各自治会等の公民館役員といった地域の皆様の活動や各地域コミュニティの力によって支えられています。

一方、現在のスポーツ施設は、昭和 53 年のやまびこ国体を契機として、整備を図ってきたもので、建設以来 40 年余を過ぎた施設です。今後更新や改修を計画的に行う必要が生じていると回答をしました。

4 つ目が総合型地域スポーツクラブについてです。当市でも過去に、総合型地域スポーツクラブの可能性について、当時の茅野市体育協会に相談しながら検討した経過があります。

市内でも、総合型地域スポーツクラブを運営しているクラブもあります。しかし、市や茅野市スポーツ協会といった団体が主体となった総合型地域スポーツクラブはありません。

背景には、各単位スポーツ団体の活動が活発であること、スポーツ少年団活動が定着していること、公民館活動等により、スポーツに取り組める機会と活動場所が担保されていることが要因に挙げられます。

今後、地域において総合型地域スポーツクラブを設立したい声等が出てきたときには、対応を考えていくと回答をしました。

こども部長

続いて、木村かほり議員から子育て施策について 7 つの質問をいただきました。

1 つ目が「育ちあいちの」の相談手順についてです。相談があれば、職員全員で受理会議を開催し、アセスメントシートを作成しています。その上で必要な支援を検討し、包括的な支援を実施しています。アセスメントシートは常に見直し、より適切な支援の検討と放置の防止に努めていると回答をしました。

2 つ目が「育ちあいちの」の周知方法についてです。市のホームページや広報ちの等へ掲載、学校や保育園を通じてチラシを配布して周知しています。また、保育園や学校の全職員にもチラシを配布しています。なお、市民のみなさんの意見を伺いながら、よりわかりやすい周知に努めていくと回答をしました。

3 つ目が「育ちあいちの」の支援体制についてです。「育ちあいちの」は家庭児童相談室と発達支援センター機能を包含させ、要保護児童対策地域協議会機能を持ち合わせた相談窓口です。

正規の保健師、福祉職、臨床心理士、保育士、教員経験や保育士経験のある相談員、スクールソーシャルワーカー、学校との連携を支援する統括コーディネーターなど多職種の有資格者を配置しています。

今年度は児童相談所OBをスーパーバイザーとして配置。南信教育事務所からスクールソーシャルワーカーを 1 名派遣していただき、専門スタッフ 16 名体制で相談・支援体制の強化を図っています。

保健、医療、教育、福祉の関係機関と連携し共通理解と支援を大切にしたチーム支援を行っているという回答をしました。

4 点目が家庭教育センターの相談窓口についてです。家庭教育センターは、家庭教育相談・教育相談・育児相談に対応しています。相談員として、園長経験者 2 名の家庭教育相

談員と校長経験者1名の教育相談員を配置し、祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで対応しています。

来館者の大半は、子育て・親育ちのための講座を受講した後に相談しています。講座終了後気兼ねなく相談できるのが家庭教育センターの特徴であります。

また、定期的に各地区こども館へ出向き、来館者やどんぐりメイトの相談にも対応しています。

平成30年度は延べ132件の相談があり内容は、育児・しつけ、性格行動といった育成相談が多く、相談内容によっては「育ちあいの」や保育園、学校へ連携を取りつないでいると回答をしました。

5つ目が不登校等の対応についてです。「教育機会確保法」が平成29年に完全施行され、この法の採決にあたり衆・参議院の委員会において、児童生徒の状況に応じた支援を行うことなどの付帯決議が付されています。

茅野市では、これらのことは既に全学校に周知しており、各学校のコーディネーターが「育ちあいの」に繋げ総合的な支援を行っています。

不登校対応として、「中間教室の設置」「不登校等対応検討会の開催」「スクールソーシャルワーカーの配置」「臨床心理士によるカウンセリングの実施」「特別支援教育支援員の配置」「スクールメンタルアドバイザーによる相談の実施」等を行っています。

保健室・相談室などを気軽に利用しやすい学びの場にする校内の環境づくり、子どもと教師との信頼関係づくりのために教職員の資質向上を図る研修会や教職員への専門的な相談・助言を行うなど支援体制を行っています。

小中学校から毎月いじめや不登校の実態について報告を受け、学校教育課と「育ちあいの」と連携して支援しています。

今年度から新たな学びの場として各中学校内にサポートルームを開設し、教員経験がある学習支援員を永明中学校、北部中学校、東部中学校に1名ずつ配置したと回答をしました。

6つ目が中学校のサポートルームについてです。今年度から新たな学びの場として各中学校内にサポートルームを開設し、教員経験がある学習支援員を永明中学校、北部中学校、東部中学校に1名ずつ配置しました。長峰中学校については、既に県の加配で1名配置されています。

サポートルームの具体的な取組は、①不登校・不適応生徒について、学びの場の提供、相談支援。必要に応じて保護者への相談支援。②教科担任と連携しその子に合った学習の支援。③学習支援に限らず、体験学習を大切に多様な学びの場を提供。④家庭の経済的な事情等も視野に入れ、担任や保護者と相談の上、学習支援等の個別対応をさせていただきました。

この事業は、中学校の先生方からの要望を受け新規事業として立ち上げ、国の補助金「生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援事業費」を受けられるように申請をしています。

各中学校において保護者会等で案内をし、目的や意図についてさらに理解していただくため、今後も保護者会、学校の通信等で気軽に利用できるように周知していきます。サポートルームの学習支援員と定期的な情報交換や意見交換、研修会を行っているという回答をしました。

7つ目が多忙な教職員への支援体制についてです。質の高い授業、質の高い指導が行われるように、子どものための時間をつくるという観点を何よりも大切にしています。また、教職員が健康で自分のための時間をつくるという観点からも、業務改善に取り組み時間外勤務時間が年々減少してきています。

学校現場では、ここ数年学校だけでは解決できない問題が増えていることを受け、昨年度、「育ちあいちの」を設置し、学校と教育委員会の役割分担と協働に取り組んでいます。

また、この「育ちあいちの」の取組は、昨年度、県から「学校現場における業務改善加速事業」の委託を受けています。教職員は児童生徒の相談や生徒指導により集中できるようになり、教職員の精神的な負担も軽減されています。

また、校長会と共同で「茅野市業務改善委員会」を立ち上げ、様々な取組を行っています。

昨年の夏休みは8月13日から16日の4日間、全小中学校を閉庁としました。今年は8月13日から19日の7日間、閉庁とする予定です。今後は他の長期休暇について、学校閉庁日の導入を考えています。

また、昨年度からタイムカードを導入し、勤務時間を正確に把握しています。

中学校においては、「設置する学校に係る部活動の方針」を改訂し、休日の部活動の活動時間を3時間と短縮を図りました。

また、市教委主催の研修や会議の開催回数を大幅に減らしました。学校行事等の場合には、勤務の割り振りをし、提出書類につきましても精査し、数を減らし簡素化しました。

その他、茅野市型コミュニティスクールの導入により、様々な場面で協力していただいています。

昨年度から県費によるスクール・サポート・スタッフが永明小学校、宮川小学校、玉川小学校に1名ずつ配置され、今年度は東部中学校にも1名配置されました。

さらに、今年度から各中学校に部活動指導員を1名ずつ配置し、部活動指導員については、来年度以降も増やしていきたいと考えていると回答をしました。

続いて望月克治議員より学童クラブの運営について3つの質問をいただいています。

1つ目が配置基準の現状についてです。茅野市は、計18学童クラブで運営を行っています。

入所児童数は、平成 28 年度から 4 年生以上の児童も受け入れ対象となったため増加傾向にあります。

学童クラブ支援員は 4 月 1 日現在、常勤支援員が 42 名、代替支援員が 48 名です。

「茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」で、配置基準を定めました。現在、全学童クラブで、2 名体制のうち 1 名は資格を有する者を配置しています。更に支援が必要な場合は、加配の補助員をつけて対応していると回答をしました。

2 つ目が茅野市において現状の配置基準について問題はあるかについてです。配置基準について問題はないが、常勤補助員が不足しているため、代替補助員を 7 名当てている状況で、ハローワーク等で募集をしていると回答をしました。

3 つ目が配置基準が変わった場合の対応についてです。今回「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図る為の関係法律の整備に関する法律」により、児童福祉法が改正されています。これにより学童クラブに従事する者及びその員数の基準について、「従うべき基準」から「参酌すべき基準」に改正されました。

ただし、参酌すべき基準を定める厚生労働省令については、改正されていません。

この法改正を受け、その後の厚生労働省令がどのようになるか、また、国庫補助事業及び県補助事業がどうなるか、土曜学童等の少人数の対応をどのようにするか等、今後において検討が必要になると考えています。

当面は市条例の改正はせず支援員を原則 2 人以上配置することで運営していきたいと考えていると回答をしました。

生涯学習部長

続いて、望月克治議員より地方分権一括法による社会教育への影響について 3 つの質問をいただきました。

1 つ目が地方分権一括法と社会教育の関わりについてです。現時点では、首長部局へ移管することについて教育委員会内で議論はしていません。

教育委員会は教育行政の中立性を確保することを尊重し、首長とは独立した合議体の執行機関として法定事務を行ってきています。

社会教育も市民の学習権を保障する観点から、主として成人に対し学校教育とは別の視点から各種教育を行っています。

首長部局に属さない教育委員会により社会教育が行われていると認識していると回答をさせていただきました。

2 つ目が公民館活動や図書館運営への影響についてです。各社会教育施設についても、首長部局へ移管することについて議論は進めていません。

戦後の教育行政は、一般行政から独立した教育委員会制度のもと出発しています。首長部局へ移管した場合、首長は社会教育施設職員や公民館運営審議会、図書館協議会、博物館協議会等の委員の任命や委嘱を行うことになります。

公民館主事、図書館司書、博物館学芸員の専門性に基づいた社会教育行政に影響がでると考えられます。

住民の自主性による学習の権利が損なわれる可能性があり、公民館も図書館もこども部の施策と連携して行っています。

各社会教育施設は、教育委員会のもとで運営することが望ましいと回答をしました。

3つ目が住民自治の原点ともいえる社会教育の根本原則についてです。茅野市では、第5次茅野市総合計画の策定に伴い、子育て・教育・文化の分野別計画は、全て教育委員会が所管する分野として策定しました。

分野別の最上位計画である「茅野市教育大綱」には、基本方針の一つに「学習機会の充実と場の提供」を掲げています。

教育大綱をもとに「生涯学習推進指針」を策定し、全ての人が生きがいのある人生を送るために、「市民の学びを支える」「学びの成果の活用を支える」「つながりを支える」の、この3つの支えるを指針の柱としました。推進指針の基本目標に沿って「社会教育推進計画」も策定しました。

事業によっては教育委員会内で完結しないものも出てくるが、その場合は、首長部局と連携して推進していきます。

生涯学習都市宣言をしている当市において、公立社会教育施設を首長部局へ移管することについて、教育委員会としては考えていないと回答をしました。

以上になります。

教育長

ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他2「市議会6月定例会議決結果について」お願いします。

こども部長

その他2の資料をご覧ください。令和元年度茅野市議会6月定例会議決結果についてです。昨日、議会最終日において、議決が全て行われましたのでご報告させていただきます。

教育委員会に関係するものについては、議案第7号の茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例についてですが、こちらは可決となりました。

議案第9号の令和元年度茅野市一般会計補正予算（第1号）についてですが、こちらは幼児教育無償化の対応システム改修や、みどりヶ丘保育園の改修工事設計、小中学校のタブレット端末導入に伴う使用料、市図書館のボイラー修繕費用、市民館の補助金事業に関する内容になりますが、可決をいただきました。

教育委員会関係については以上となります。

請願、陳情等に関しましては、教育委員会関係はありません。

教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

全委員

なし。

教育長

次にその他3「茅野市奨学金審査会委員の選出について」お願いします。

学校教育課長

その他3の資料をご覧ください。茅野市奨学金に関する条例第8条第6項による審査会の委員任期は2年間となっています。ここで任期が満了となりますので、新たに委員の委嘱をご提案させていただきました。昨年までは委員の人数は12名でしたが、昨年の委員会の中で高校関係者にも入会していただきたいというお話しがあり、今年度からは茅野高等学校長の志津校長を新規で加えさせていただきました。継続の方が7名、新規の方が6名の計13名でお願いしたいと思います。

教育長

承認としてよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

ありがとうございました。

次にその他4「ロングモント市・茅野市ホームステイ交流事業について」お願いします。

生涯学習課長

その他4の資料をご覧ください。受入れのスケジュールを示させていただきました。

今回、来訪される方につきましては、7月20日に電車で茅野駅へ到着されます。午後はウェルカムパーティーがあります。翌日の21日はファミリーデー、22日は保育園、中学校の見学をします。23日は永明小学校、米沢小学校を訪問します。24日につきましては、市内観光ということで、諏訪大社上社、ピラタス、白樺湖、尖石縄文考古館等を見学します。25日は市長表敬訪問をし、そのままバーベキューパーティーが行われます。青少年自然の森ではイングリッシュキャンプを行います。26日は県内観光ということで、善光寺や松本城などを観光します。27日はファミリーデー。28日はさよならパーティーを行います。29日は東海大諏訪高校を訪問し、7月30日にお別れの会を行います。

派遣団の関係につきましては、7月30日のお別れ会と同時に出発の会を行い、一緒のバスで出発します。派遣団の出発は7月30日の9時頃を予定しています。帰国は日本時間の土曜日夜9時頃を予定しています。

派遣団として、団長を学校教育課所属の山岡先生にお願いをし、国際クラブに所属している入倉さんにシャペロンをお願いします。中学生からは男子1名、女子7名の計8名が派遣されます。

帰国後の報告会を8月31日の土曜日午後7時から議会棟大会議室で行います。こちらにつきましては、教育委員さん方のご出席をお願いいたします。

以上になります。

教育長

ありがとうございました。

その他について、追加はありますでしょうか。

学校教育課長

「“ふらっと ながら 見守り活動”について」資料をご用意させていただきました。こちらに関しましては、市内小中学校全てのコミュニティスクールを通じて各地区へ働きかけをしていただいています。6月の区長宛て文書でも回覧もしくは全戸配布をし、それぞれのご家庭へ協力のお願いが出ているかと思えます。6月6日の茅野市コミュニティ運営協議会の運協会長会や、6月17日の主任児童委員会において、教育委員会から参加についてのお願いをしたところです。

先日の市PTAとの懇談会でもご説明をさせていただきましたが、教育委員会から住民活動として、それぞれの個人として活動をしていただきたいとお願いをしました。

本日、ご出席の皆様にもそれぞれ個人として是非参加をしていただきたいと思えます。

以上になります。

教育長

ありがとうございました。

最後に事務局より次回の日程についてお願いします。

教育総務係長

次回7月の予定になります。定例教育委員会を7月26日（金）午後2時から704会議室で行います。事務局会議については、7月11日（木）午前8時45分から705会議室にて行います。よろしくお願いいたします。

教育長

ありがとうございました。以上で6月定例教育委員会を閉会いたします。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

令和元年 7 月 26 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長